

第 51 回 ASPAC・第111回国際合同マニラ大会の報告

2026 年は、ASPAC 大会と国際大会が合同でマニラで開催されました。

全体の登録者数は 1,195 名、内、日本からは 49 名でした。

その中には2名の SLP 会員も含まれています。

(更に 3 名の SLP 会員がイベントのみに参加しました。)



6 月 22 日(月)～23 日(火)

- ASPAC 研修会

総会に先駆け、ASPAC 研修会が開催されました。

日本からは、朝田次期ガバナー、宮川次期成長戦略委員長、堂岡広報委員長の3名が出席したほか、宮崎次期 ASPAC 成長戦略委員長も講師として参加しました。

6 月 24 日(水)

- ASPAC 役員会



午後から行われた ASPAC 役員会には、日本地区から、中井ガバナー、吉國国際理事、宮崎 ASPAC 奉仕プロジェクト委員長、野間 ASPAC SLP 委員長、多田 ASPAC リーダーシップ研修委員長、オブザーバーとして朝田次期ガバナーが出席されました。

この中で、台湾の現ガバナーの解任が決定されました。

- 展示会場オープニングと審査



今年の日本地区の展示のコンセプトは、「子どもたちに笑顔をもたらす紙のおもちゃ； バタフライ・プロジェクトと折り紙」。福岡クラブ作成のバタフライを、神戸クラブ作成のキワニスノートから飛ばして興味を持ってもらい、それぞれのプロジェクトの背景を説明するとともに、日本の伝統文化である折り紙も紹介しました。

同時に、日本の成長戦略イニシアチブであるWYS (Women, Youth & Senior)プロジェクトも紹介しました。

- キワニス・ボイセス・クラブ認証状授与式



今回、参加キャンセルになってしまった KVC 日本のメンバーに代わり、中井ガバナーがチャーター証書を受理しました。



6月25日(木)

- 合同開会式
- 展示

バタフライ・プロジェクトの本案、福岡クラブの皆さんが到着し、本格的な展示がスタートしました。

- ASPAC 年次総会
 - ・ 会場警備担当委員長に中井ガバナー、委員に芦屋の多田副ガバナーを迎えて開催されました。
 - ・ 規約改正案



1	Chairman を President に変更	否決
2	VO (Virtual Office) 及び専務理事についての規定の削除(細則に移動)	可決
3	財務についての項目の再構成	可決
4	文法的修正	可決
5	代議員選出方法の変更(1 クラブ2票)	否決

注:巨大地区が有利となる第5号議案が否決されたことは日本にとり朗報。

- ・ 選挙結果

2026-2027 ASPAC 議長	Michael Chiew	マレーシア
2026-2027 ASPAC 次期議長	Evangeline “Gigi” Chan Chu	南部フィリピン
2026-2027 ASPAC 副議長	Glenda Hufano	フィリピン・ルソン
2026-2027 ASPAC 財務担当	Aleta Tolentino	フィリピン・ルソン
キワニス国代表(3名)	Allan Camacho	グアム
	(未定)	
	(未定)	
2026-2029 ASPAC 地域指定 国際理事	Jose Ramon “Ike” Altavas (次期日本地区担当 カウンセラー就任予定)	南部フィリピン

- ・ 将来の ASPAC 大会開催地

2027	グアム	比ルソンより、場所変更の提案がありましたが、日本地区等の反対もあり否決されました。
2028	インド	
2029	セブ(南部フィリピン)	



◀ 議案について意見を述べる宮崎元ガバナー

● ASPAC 夕食会

各コンテストの結果が発表されました。日本地区は多くの賞をいただきました。

・ ASPAC ストーリーズ: 応募 11 作中 6 作品入賞

ビデオ 1	キワニス	1	Cebu	南部フィリピン
		2	Chennai	インド
		3	Polangui Movers	フィリピン・ルソン
	SLP	1	神戸 BC & KC	日本
		2	KC of KISEC	南部フィリピン
ビデオ 2	キワニス	1	Lubao Gems	フィリピン・ルソン
		2	芦屋	日本
		3	埼玉	日本
	SLP	1	KC of KISEC	フィリピン・ルソン
		2	クラークさいたま KC	日本
		3	神戸 BC & KC	日本
ビデオ 3	キワニス	1	Lubao Gems	フィリピン・ルソン
		2	Polangui Movers	フィリピン・ルソン
		3	Perth	オーストラリア
	SLP	1	KC of KISEC	フィリピン・ルソン
		2	クラークさいたま KC	日本

・ ASPAC RISE: 応募 5 作中 2 作品入賞

キワニス	1	名古屋	日本
	2	Golden Salakot	南部フィリピン
	3	Daragang Magayon	フィリピン・ルソン
SLP	1	KC of ST1 Iligan	フィリピン・ルソン
	2	クラークさいたま KC	日本
	3	CK of Maryhill College	フィリピン・ルソン

・ その他(日本が受賞した主なもの)

優秀ガバナンス賞	ニュージーランド南太平洋、マレーシア、日本
ダイヤモンド・クラブ (会員数 100 以上)	台湾、フィリピン・ルソン、インド、 日本(名古屋、高松、福岡、熊本)
プラチナ・クラブ (会員数 50~99)	オーストラリア、インド、マレーシア、台湾、 日本(東京、広島、神戸、仙台、札幌、和歌山、埼玉、 鹿児島、徳島、岡山)、

リーダーシップアカデミー、ストーリーズ、RISE への積極的参加への感謝トロフィーがそれぞれ日本地区ガバナーあてに授与されました。

その他、ASPAC の運営に対する協力を感謝するトロフィーが、ガバナー、次期ガバナー、各委員長あてに授与されました。

- ・ 展示

1	グアム
2	フィリピン・ルソン
3	南部フィリピン

- ・ 文化プレゼンテーション

1	フィリピン・ルソン
2	南部フィリピン
3	インド

- ・ ベスト・ドレッサー

女性	下山 麻由	日本
	Jennifer Densing	南部フィリピン
男性	Low Ying Kow	マレーシア
	Japsifat Singh	インド



6月26日(金)

- 2025-26及び2026-27 ASPAC 合同役員会



日本地区からは中井ガバナー、朝田次期ガバナー、吉國国際理事、宮崎 ASPAC 奉仕プロジェクト委員長、野間 ASPAC SLP 委員長、多田 ASPAC リーダーシップ研修委員長が出席されました。

- ASPAC SLP サミット

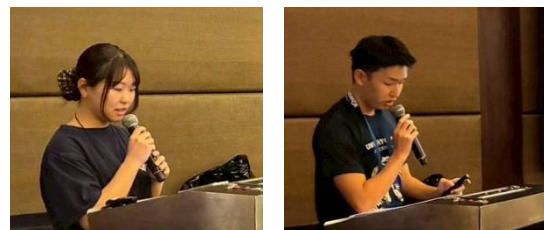
ハイブリッドで行われたこちらのイベントでは、CK 芦屋メンバー、CK グアムメンバー(日本人)、KVC 日本からも発表がありました。

- SLP 昼食会



続く

SLP 昼食会では、日本から参加した SLP メンバーが紹介されました。



- 日本地区夕食会

今回、日本からマニラ大会に参加した49名が一同に会し、夕食のひと時を楽しみました。



6月27日(土)

● 国際年次総会



- ・ タイムキーパーに埼玉クラブの野間会長を迎えて開催されました。
- ・ 規約改正案

1	国際年次総会でのオンライン投票	取り下げ
2	執行委員会メンバーの削減	否決
3	目的4から”Aggressive”という単語を削除	否決

- ・ 選挙結果

2026-2027国際会長	Hope Markes	ジャマイカ
2026-2027 次期国際会長	Cathy Szymanski	米国 ペンシルベニア州
2026-2027 国際副会長	Trinidad P. “Toto” Gonzales	フィリピン(ルソン)
2026-2029 米国・太平洋カナダ地域指定 国際理事(3名)	尾形 隆彦	米国 インディアナ州
	Linda Ramsey	米国 テネシー州
	Valarie Brown-Klingelhoef	米国 カリフォルニア州

● ガラ 夕食会

- ・ ミンダナオ地震へのお見舞い

6月8日にミンダナオで発生した地震に対し、日本からマニラ大会に参加した方々に義援金を募ったところ、円、ペソ、ドルでおよそ143,000円が集まり、クラークさいたまキークラブ・メンバーの作成したカードとともに、南部フィリピン地区ダン・フェルナンデス・ガバナーにお贈りしました。

後日、心のこもったお礼状をいただきました。

- ・ 文化プレゼンテーション



日本地区は、ASPAC 夕食会で行った文化プレゼンテーションの再演を依頼されました。

今年の出し物は「書道パフォーマンス」。水で書ける半紙を使い、袴姿のCK 芦屋メンバーが、「ソーラン節の音楽に合わせ、「絆 KIWANIS」の文字を書きあげました。ASPAC 夕食会

でうまくいかなかった部分を挽回し、完璧な状態で披露することができました。 以上